

# 議 会 だ よ り

## か み ふ ら の



No. 77  
2013.2.10発行

身近な議会を目指して…

### contents

- 第4回定例会 各会計補正予算を原案可決ほか……………P 2
- 「公共下水道事業の推進」など5名の議員が町政を問う……………P 6
- 「みんなのページ」今回は富町の『おしゃべり会』を取材……………P 11



『祝☆成人!!  
~夢にむかって~』

# 第4回定例会

第4回定例会は、12月11日・12日の2日間開催しました。

町から、専決処分報告、補正予算、指定管理者の指定、財産

取得の件などが上程され、すべての案件を可決しました。

また、23年度各会計の決算を認定し、意見書を可決しました。

一般質問では、5名の議員が町長、教育長に、障害者計画や上富良野

高校の支援策などについて、考えを質問しました。



## 平成24年度一般会計

### 補正予算を可決

災害復旧事業の確定や子どもセンター改修、農業後継者の増加、上富良野小学校改築事業における地中熱ヒートポンプ導入に伴う熱応答試験、食缶洗浄機更新事業、泉

会計名	補正額	総予算額
一般会計	▲963万円	64億4299万4千円
国民健康保険特別会計	▲265万1千円	14億3108万円
後期高齢者医療特別会計	▲92万1千円	1億1506万3千円
介護保険特別会計	▲164万1千円	8億181万2千円
ラベンダーハイツ事業特別会計	▲141万円	2億9940万8千円
公共下水道事業特別会計	▲107万1千円	4億1638万1千円
水道事業会計	▲239万2千円	1億6016万9千円

町南団地建替え事業及び道々吹上線街路灯整備事業費など963万円を減額し、総額を64億4千299万4千円とする補正予算を可決しました。

## 子どもセンター施設内を改修

来年4月に予定している子どもセンターの職員配置計画により、事務所スペースの確保が必要になったため、改修費用210万円の補正予算を可決しました。

### 質疑から

問

人員配置は具体的にどのようなものか。また、既に老朽化しているもので改修する予定は。

答

中央保育所の民間移譲に伴い、4月に1〜2名の配置を考えている。本年度に改修を行ったが、あと10年程度は使えるよう長寿命化を図りたい。

## 町営住宅の基本設計を実施

泉町南団地を建て替えるための基本設計費用584万6千円の補正予算を可決しました。24年度に基本設計、25年度に実施設計、26年度に工事着工をする予定です。

### 質疑から

問

整備計画の段階で非団地化や分散化、中心市街地へ集約する計画はあるのか。

答

非団地化は全ての町営住宅を団地化で管理しており、分散することは難しい。中心市街地への集約は新たな用地の確保も必要となるため、検討しながら進めていきたい。

## 道々吹上上富良野線街路灯整備事業の実施年度を変更

北海道が実施する予定だった道々吹上上富良野線の整備事業が来年度以降に変更になり、この事業と合わせて街路灯を設置する予定であったため、実施年度を変更し、事業費用300万円の減額補正を可決しました。

### 質疑から

問

省エネルギーの面からもLED化の予定はあるのか。

答

省エネ対策・節電の動きが全国であり、町も検討できないか北海道と協議を行った。しかし、寒冷地仕様の大型LED照明はまだ開発途上で、課題が残っているため、24・25年度での予定はない。

問

時代に逆行してナトリウム灯を整備することは非常に無駄なことだと思うが、柔軟に検討すべきだと思いませんか。

答

ナトリウム灯は熱源を発するため雪が降っても自然に解けて氷柱などは生じないが、LEDの場合は非常に熱が弱く氷柱ができて落ちる危険もある。その対策がまだ定まっていなくても導入にならなかった原因のひとつ。

## 町議会議員補欠選挙



中澤 良隆 (66歳)

所属委員会 厚生文教常任委員会  
 議会議報特別委員会  
 党職 派業 無所属 無職

12月2日に執行した町議会議員補欠選挙において中澤良隆氏が当選しました。

## 上小ヒートポンプ導入に向けて

### 熱応答試験を実施

上小の改築にあたり、地球温暖化対策・省エネルギー対策の一環として地中熱を使うヒートポンプを導入するため、熱応答試験を実施する費用298万2千円の補正予算を可決しました。

この試験では地面を100m程度掘り、ヒートポンプに必要な熱量が取れるかを試験します。

### 質「疑」から

#### 問

熱応答試験は100m前後を掘ればある程度の熱量が取れ、地中熱の効果が上がるとの事だが、万が一必要な熱量が取れなかった場合は、事業自体を取りやめることになるのか。

#### 答

町としては計画通り実施したいと考えている。この事業は導入のための試験であり、省エネの観点から計画通り進めたい。

## 給食センター

### 調理設備の更新を実施

特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額に伴い、来年度以降に予定していた給食センター調理設備の更新の一部を前倒しし、今年度を実施するための費用1千402万8千円の補正予算を可決しました。

今回は食缶洗浄機とスライサーを更新します。

## 国民健康保険特別会計

### 補正予算を原案可決

高額療養費の増額・負担金の確定などに伴い、265万1千円を減額し、総額を14億3千108万円とする補正予算を可決しました。

## 後期高齢者医療特別会計

### 補正予算を原案可決

24年度広域連合納付費の確定及び23年度の広域連合納付費の精査などに伴い92万1千円を減額し、総額を1億1千506万3千円とする補正予算を可決しました。

## 介護保険特別会計

### 補正予算を原案可決

24年度介護保険料・介護保険システム改修事業の確定、給与費の減額に伴い、164万1千円を減額し、総額を8億181万2千円とする補正予算を可決しました。

## 意見書を国などに

### 提出しました

#### 安心できる介護制度の

#### 実現を求める意見書

介護保険制度の改正により、利用者が受けられるサービスが低下し、使いづらいものになっている。また、介護サービスを提供するヘルパーなどの賃金が他に比較して著しく低く、離職者が後を絶たないために安定的なサービスの提供に不安があるとして、利用者本位の制度への改善とサービス提供者への処遇改善が必要であることから、

○介護保険制度を改正し、介護報酬を引き上げるとともに介護保険料と利用料を軽減すること。

○訪問ヘルパーによる生活援助の時間短縮と上限引き下げを見直し、必要なサービスを受けられるようにすること。

○全額国費負担による介護職員の賃金上げを行うこと。  
 の三点を求めた意見書です。



## ラベンダーハイツ事業特別会計

### 補正予算を原案可決

各種研修・講座参加費の増額、トイレ、洗面所改修工事完了等に伴い、141万円を減額し、総額を2億9千940万8千円とする補正予算を可決しました。

## 公共下水道事業特別会計

### 補正予算を原案可決

公設枘新設工事及び消費税還付金の精査に伴い、107万1千円を減額し、総額を4億1千638万1千円とする補正予算を可決しました。

## 水道事業会計

### 補正予算を原案可決

人事異動による給与費239万2千円を減額し、予備費に充当する収益的収入及び支出の総額を1億6千16万9千円とする補正予算を可決しました。

## 手数料条例を一部改正

都市の低炭素化の促進に関する法律が施行されたことに伴い、低炭素建築物新築等計画の認定などの審査事務を行うことから、事務コストを受益者である申請者から手数料として徴収するため徴収項目を追加する条例の一部改正を可決しました。

## 新たに「緑町3丁目1番通」を

### 町道に認定

緑町団地の跡地に障がい者支援施設の建設を予定していることに伴い、施設の利用と合わせて、残存する町営住宅の入居者の生活のために、現存する社会教育総合センターグラウンド管理通路と旧公営住宅内通路の総延長176.3mを「緑町3丁目1番通」に認定しました。

## かみふらの十勝岳観光協会を

### 見晴台公園の指定管理者に

現行の指定管理者の指定期間が24年度末で終了するため、見晴台公園の設置目的や期待する管理運営形態を担えるとして、25年度からの5年間を引き続きかみふらの十勝岳観光協会に指定しました。

## 緊急通報システム

### 端末装置を取得

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯で介護認定を受けた方、虚弱高齢者、障がい者などのいる家庭に対して、火災や急病、事故等の緊急事態に備え、上富良野消防署にセンター装置を設け、利用者宅に緊急通報システムの端末装置を設置するため、新たに260台の財産取得を可決しました。

## 第3回臨時会(11月19日開催)

### ○専決処分承認

(町議会議員補欠選挙) を承認可決

第17回町長選挙に併せて行われる、町議会議員補欠選挙に必要な経費148万1千円を予備費から総務費に補正する専決処分を承認可決しました。

### ○プレミアム商品券の経費を助成

地域の商工振興を目的とした、プレミアム商品券の発売に伴う経費として、一般会計の予備費から商工費に1千200万円を充用する補正予算を可決しました。

### ◆質疑から◆

問 発売しても売りが伸びないという声を聞くが、消費動向・市場の調査は実施しているのか  
答 平成8年以降実施していない。大きな変化はないと認識しており、今後の実施は商工会などと積極的に協議する。

問 これまでの販売の経験から反省し、改善された点は。  
答 限度額を一人5万円から、一世帯5万円とし、予約制とすることで、多くの世帯に行き渡るようにした。

問 商品券販売に伴う商店の接遇・サービスの改善は。  
答 魅力ある商店を目指し、個々の店で誘客サービス・PRに努力していただく。

### ○総選挙費用の補正予算を原案可決

衆議院議員総選挙に伴う費用として、687万7千円を国庫支出金として歳入し、選挙費用として総務費・給与費に充用する補正予算を可決しました。

# 平成23年度各会計決算認定 審査意見を付して認定

平成23年度の各会計（一般・特別）及び

企業会計の決算は決算特別委員会（長谷川徳行委員長）を

設置して10月3

日から5日の3

日間委員会を開

催し、二つの分

科会による書類

審査と全体での

議案審査を行い、

第4回定例町議

会で審査意見を

付して認定しま

した。



## ●23年度に町が取り組んだ主な事業

### ◇予約型乗合タクシーの試行運転

高齢者や障がい者の方々を対象に生活支援や閉じこもりを予防するため、予約型乗合タクシーの試行運転を実施。

民間業者に委託し、運行区域は島津・富原・東中・市街地。登録者数は475名、稼働率57.6%。

### ◇障害者自立支援

障害者自立支援法に基づき、障がいのある方が自立した生活を営むための総合的な支援を実施。

### ◇中山間地域直接支払

農地の傾斜がきついなど、生産条件が不利な地域の安定した営農の継続を支援し、農業農村地域の持続や農地の保全につなげる事業。地域と町が協定を締結。

### ◇防災アドバイザーの配置

災害発生時等の初期活動で、重要な役割を担っている住民会・自主防災組織の支援や、活性化のために、防災士の資格を有する防災アドバイザーを配置。

### ◇緊急雇用創出対策

厳しい雇用情勢と失業率の悪化に伴い、国は緊急雇用創出事業を実施。町ではこの事業を活用して4種の事業を実施。雇用人数は9名。

### ◇地上デジタル放送難視聴対策

地上テレビ放送のデジタル化に伴い、地理的な条件などにより、個別アンテナでは電波が受信できない難視聴地区（清富・日新・江幌）に、地上デジタルを受信するための受信設備を整備。

## 審査意見

### 一般会計

#### ◆町税等の収納

収納率の向上が見られるが、今後も引き続き収納率の向上に努めるように。

#### ◆富良野広域連合

運営の効率化が図られるよう努めるように。

#### ◆定住移住促進

十分な成果があがるよう、より具体的に取り組みを進めるように。

#### ◆防災対策

十勝岳総合防災訓練における図上訓練の成果を活かし、今後の訓練の充実を図るように。

#### ◆在宅福祉

支援制度の検討をするとともに、更なる充実に努めるように。

#### ◆一般廃棄物

一般廃棄物処理施設地区連絡協議会負担金については見直しを図るように。

#### ◆環境対策

環境対策推進については、省エネルギー住宅リフォーム補助は、より多くの住民がさらに利用しやすくなるよう制度の改正をするように。

### 国保会計

#### ◆短期資格証明書

短期資格証明書の交付については、今後も留め置きが発生しないよう努めるように。

#### ◆特定健診

非常に努力されているが、今後も医療費抑制を図るため、特定健診・特定保健指導等の充実を図るように。



小野 忠 議員

## 公共下水道事業の推進を

## 収入を増やし収支健全化を図る

**小野議員** この事業は町

民が健康で文化的な生活及び機能的な都市活動を確保するために町の適正な制限のもとに町民の責務として市街地形成に努めなければならないとある。

この事業は昭和58年に着工し、平成7年から供用を開始し、総事業費は4億2千万円であり、当時の普及率は75%で計画され、17年以上経過した今日、水洗化率は87%と

低く、料金収入について指摘したい。

### おしえて!! その1

『収支健全化』ってなあに?

収入と支出のバランスが良く、収入の範囲内で計画的に事業を進めることができるようにすること。公共下水道事業は特別会計で、収支の不足分を町の一般会計から繰入れていますので、健全化によって一般会計の負担が減ることになります。

この会計に一般会計から1億近い予算を繰り出しており、財政が厳しい中での繰入金だと考え、料金収入を増やすことがあっても良いと思うかどうか。

**向山町長**

使用料収入を増やし、収支健全化を図るためには、下水道の接続戸数の増加を図ることは重要なことと考える。

現状での下水道区域の水洗化率は87.8%で、水洗化に至っていない世帯の多くは厳しい経済情勢の中にあつて改造のための資金不足に加えて高齢世帯や独居世帯で将来予定を立てることが困難な現状にある。

**小野議員**

計画指標について伺いたい。

**向山町長**

計画当初の昭和54年の基本計画では

計画人口1万4千500人と定め、現在は第5次総合計画の目標人口と整合を図ったうえで平成22年度に見直しを行い、平成32年の計画人口を9千600人と定めたところである。

**向山町長**

また、第5次総合計画における水洗化率の目標として、平成25年度目標で88%、平成30年度目標は90%としている。

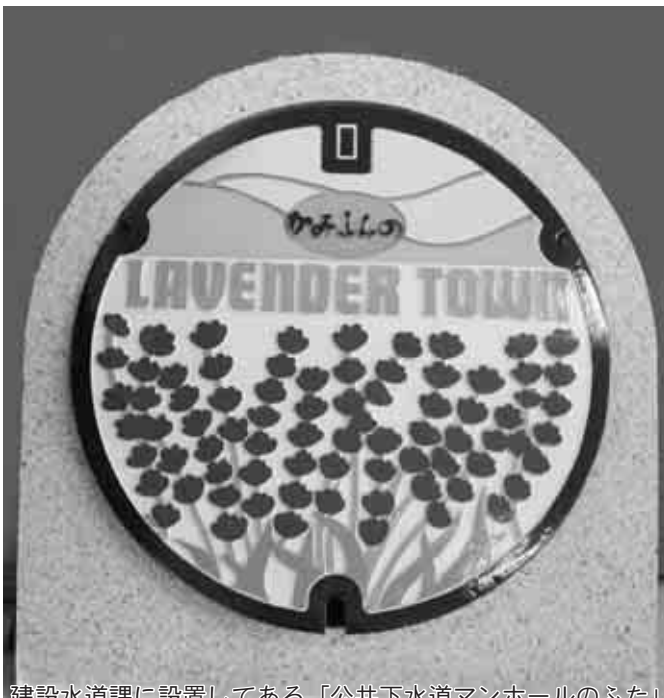
**小野議員** 水洗化の特例について伺いたい。  
**向山町長** 現在は供用開

始から3年間との期限を定めた水洗化資金助成制度の対象区域がないため、今後の奨励策としては広報を活用するなどPR活動を継続したい。

**小野議員**

水洗化されていない戸数はどのくらいあるのか。  
**向山町長** 下水道の供給エリアの中で水洗化されていない戸数は694戸ある。

**小野議員** 1日も早く努力して一人でも多くの方に水洗化にしていただけ



建設水道課に設置してある「公共下水道マンホールのふた」

### おしえて!! その2

『第5次総合計画』ってなあに?

町の目指すべき姿を大枠で示した計画で、それぞれ個別の計画の基礎となるものです。第5次上富良野町総合計画には、「四季彩のまち かみふらの ～風土に映えるくらしのデザイン～」をテーマに、平成23～32年の10年間の町の方向性が描かれています。

るよう努力をしなければ予算がいくらあっても足りないと思うかどうか。  
**向山町長** 694戸の水洗化されていない世帯がある中で、約3分の1が西町団地地区となる。

**小野議員**

公営住宅が含まれている実態もあり、この定例会で基本計画の補正を行ったが、改修と改築も含めて水洗化も大きな課題であるので計画的に推進しなければならないと考えている。





村上 和子 議員

### 上高存続のための

### 新たな支援策は

### 町外生徒へ通学費・下宿費を、 町内生徒へ就学支援費等を増額

**村上議員** 上高存続のための新たな具体的な支援策は。

**服部教育長** 来年度から入学者と在校生に対して保護者の経済的負担軽減のために、新たな施策として、町外からの生徒には年間8万円を上限として通学費、町外から町内に下宿、または間借りを

する際に上限を2万5千円とし、月額負担が1万円を超えた額を助成する。町内就学生徒には就学支

援金、月額5千円を支援する。これまでの新入学準備金2万円を6万円とし、4万円を増額して支給する。新規増加分の760

万円と既存の振興策と合わせて1千132万円を予定している。新たな支援策を講じることで、上高が存続し、町内で活躍する人材育成や町の活力、地域経済を支えるなどの観点からも特に意を持って取り組む。

**村上議員**

25年度入学者から適用し、上高を存続させたいという熱意は伝わるが、予算額が2倍の760万であり、3年間だけの考えか。就職に有利な資格取得の検定料の自己負担を無くし、出願が多い流通ビジネス科などへの変更は。

**服部教育長**

3年や5年という考え方は想定していない。その都度現状に合わせて施策以上にプラスをしたり、見直しを図っていく。資格取得については学校と協議をして進めたい。学科については、普通科を求める保護者が大変多いため、この部分は非常に難しい。



ウエイトトレーニングに励む上高野球部

### 25年度予算で鹿の農作物 被害防止の防護柵設置を

### 25年度4月予算化の結論を出し、 26年度の事業実施を目的とする

**村上議員**

鹿の農作物被害を防止するための防護柵の設置に向けて農業者、JA、行政との協議を進め、25年度で予算化を。

**向山町長**

3回協議を行い、防護柵設置箇所や設置にかかる費用などの概要をまとめ、各地区説明

を行った。今後も協議を行いつつ、26年度の事業実施を目的とする。

全農業者を対象に意識調査を行い取りまとめを行った。今後協議を行いつつ、26年度の事業実施を目的とする。

### 光ケーブル整備は25年度主要 事業として取り組むべきでは

### 市街地は民間業者へ要望、郡部 は無線を活用した整備で検討

**村上議員**

光ケーブルの基盤整備は15億円と試算され、国から1/3の補助があり、多額ではあるが25年度の主要事業として取り組むべきでは。

**向山町長**

防災情報や高齢者の安否確認など、町独自の情報を上乗せする方式で整備すると15億円程度の多額な財政投資が

必要となる。財源手当が課題であり、より安価で全町に整備となると市街地の密集地は民間通信事業者に要望し、光ケーブルを整備、郡部地域は無線を活用した整備を検討している。現在、調整検討し25年度の予算に調査費などを盛り込みたい。



農作物に被害をもたらす鹿の進入

### その他の質問

Q 若者の住む町として、住宅建設への支援を。

A 総合的な子育て支援事業に取り組んでおり、効果が限定的と思われる住宅建設に支援は考えていない。

Q 道徳教育推進教師の配置と、道徳教育の充実を。

A 各学校に1名配置している。週1時間道徳的な価値の自覚や人間としての生き方の考えを深め、道徳的実践力の育成を図っている。授業公開を行い、家庭や地域社会との相互理解に努めたい。



米沢 義英 議員

## 6次産業の取り組みは 有効な地域振興策である

**米沢議員** 産業の底上げ

や活力ある町づくりのためにも、6次産業の育成は重要だと考えるが。

**向山町長** 6次産業

化は農業者の多角経営による所得の向上・安定のみならず、雇用機会の拡大や他の産業への波及も期待ができるため、有効な地域振興策の一つであると認識をしている。本町においても、6次産業化法に基づく事業計画が、



東中で農産物の加工販売を手がけている農家

2つの経営体で認定を受けているところであり、具体的な事業の実施については、今後本格化する

ものと思われる。豊富で良質な農畜産物を有する町にとっては、有効な地域振興策と認識しており、6次産業化推進に向けた戦略的な機能を産業振興課内に設け、組織強化を図りたい。

## 障害者計画の策定状況は 障害者計画策定委員会で 協議を行っている

**米沢議員**

障がいを持つ人も持たない人も、地域や社会で安心して暮らせる環境を整えるためにも、実施計画を持つことが必要では。

**向山町長**

障害者計画の策定状況は、福祉団体や障がい者の親の会、障害福祉サービスマス事業関係者及び公募委員など11人で組織する障害者計画策定委員会を設け、平成25年度から平成32年度までの8年間



障害者福祉計画書（案）

「上富良野町自立支援協議会」を平成25年度中に新たに設けて、推進体制の強化を図りたい。

**おしえて!!**  
『農山漁村6次産業化』ってなあに？  
雇用と所得を確保し、若者や子どもも集落に定住できる社会を構築するため、農林漁業生産と、加工、販売の一体化、地域資源を活用した新たな産業の創出促進を目的とした制度のことです。

## 道々吹上上富良野線の 街路灯の設置は

## 道から早期に基本調査を 進めたいと報告があった

**米沢議員** 道々吹上上富

良野線への街路灯の設置及び町道東1線道路・東4丁目中通りの交差点への信号機の設置は。

**向山町長** 道々吹上上富

良野線と東1線道路・東4丁目中通りの交差点の信号機の設置については、住民会からも設置の要望がされており、地元住民の安全を確保するために、信号機及び横断歩道の設置は、富良野警察署に引き続き要望したい。

また、道々吹上上富良野線の街路灯の設置についても、北海道に対して要望を継続しており、北海道からは、できるだけ早期に基本調査のための予算化をしたいとの回答があった。



道々吹上上富良野線（街路灯と信号機の設置）

## その他の質問

- Q 住宅の購入時補助制度の導入は。  
A 考えていない。
- Q 住宅リフォーム制度の見直しの考えは。  
A 26年度以降に検討したい。



おしえて!! その1

『中山間地域等直接支払い制度』ってなあに? 傾斜が大きく耕作条件が厳しい農地を対象に交付金が支払われる制度です。交付金の半分は対象農地で耕作する農業者に支払われ、その他は農地保全や農村環境整備に繋がる地域活動で活用されています。

岩崎議員 近年、上富良野町内では以前には類を見ないゲリラ豪雨・局地的大雨に見舞われ、畑の

集中豪雨で被災した畑の恒久的な対策を 中山間地域等直接支払い制度で沈砂池の設置を進めている



岩崎 治男 議員

表土などが流され、多くの農家が甚大な被害を受けた。町は応急対策費として7千379万6千円を投入し、災害復旧策を行っている。抜本的な災害防止策を講じなければ、また同じことを繰り返してしまう。今後の被災箇所恒久的な抜本対策はどのような考えているのか。

向山町長 ここ数年の豪雨などによる農地などの農業被害は深刻に受け止



被災したいも畑

めている。本年度より減災対策の一環として農地所有者のご協力で中山間地域等直接支払い制度を活用し、道路や河川などの公共施設で機能に支障をきたす箇所については、沈砂池の設置を進めている。

岩崎議員 沈砂池の設置は具体的にどのような規模で、内容はどのようになるのか。

農地周辺部分の緑地化、土のうによる沈砂池を設けての流出防止、のり面

の保護などの支援策は。また、現場で重機など

を使って行う部分なのか、金銭的に助成しながら自分達で対応していくのか

伺いたい。

※のり面

盛り土でできた人工的な斜面

向山町長 沈砂池などの設置、のり面の保護、緑地化、その実態に合わせて施行されている。

前田産業振興課長 沈砂池の関連については、本年度は4箇所程度沈砂池を設けている。

そのほか農地内の土水路で中山間事業を用いながら整備する。約850万円の予算を使いながら整備をしている。

沈砂池の規模は集積場所によって大きさも様々で、土のうを積んで沈砂池の崩壊を防いだり、沈砂池に溜まった水を誘導するような排水路も整備している。

この事業そのものでは



静修の沈砂池

町内の土木業者の方々に工事の協力を頂き進めている。

岩崎議員 沈砂池に関して大変期待のできるものと理解している。

「国営畑地帯総合土地改良パイロット事業しるがね地区」で畑一区画の規模が大きくなった。急にきた雨に対応できるような廃根線に変わるプラオを入れて排水路を設けて、一度に水が下まで流れない工夫、簡単な方法を町として指導していく必要があると思うが。

向山町長 農業者自らが非常に危機感を持つており、町と気持ちをお互いに合わせて軽減に取り組んでいく。

岩崎議員 上からくる水を押さえるため町が緑化の種に補助金を出すことなどをして被災地の畑を保護する施策を考えるべきだと思うが。

向山町長 土砂流出等防護策としての緑肥の緑地化、その施策については既に取り組んでいる。諸機関・諸団体も一緒に協議し、減災対策に引き続き取り組んでいく。

おしえて!! その2

『沈砂池(ちんさち)』ってなあに? 大雨や雪の融水による耕作土の流出を防ぐ施設です。“溜め”を作って水とともに流れてきた土を受け止め、水だけを流し出す機能を有します。土のうを積んで堰(せき)を施した簡易的なものでも、減災の効果があります。



佐川 典子 議員

## 神社の公衆トイレなど 高齢者に優しくしては 整備が必要で25年度に 方向性を定める

**佐川議員** 高齢化時代に  
伴い公衆トイレなどにつ  
いてはバリアフリー化・  
洋式化・水洗化は当たり  
前の時代になってきてい  
る。以前の質問に対し島  
津公園や東中コミュニティ  
広場など改善されたが、  
神社敷地内公衆トイレ  
(昭和54年設置)も改善  
が望まれる。祭りことや  
行事には多くの人が集い、  
隣のグラウンドは子供や  
野球関係者の利用もある。  
また、駅やセントラルプ

ラザ2階のトイレなど不  
特定多数の人が集まり、  
利用する場所は衛生環  
境・生活環境の面から早  
急に改善すべきと思うが、  
優先順位や改善基準など  
計画性はあるのか伺う。  
**向山町長** 公共施設の衛  
生環境の改善に努めて来  
たが神社敷地内のトイレ  
は未整備である。駅はJ  
Rに要望し、セントラル  
プラザ2階のトイレは改  
善の必要性を認識してい  
る。施設管理や利用状況

を考慮し方向性を定める。  
優先度は個々の事案によ  
る。

**佐川議員** 公衆便所の位  
置づけは「公衆の利用に  
供するために設けた」と  
ある。「供する」とは、お  
もてなしの感覚の言葉で  
あり、現代は衛生・健康・  
サービス・景観環境にも

通じることを新たに認識  
すべきである。神社のト  
イレは洋式化・水洗化、  
改修なのか、どの程度を  
考えているのか伺う。

**向山町長** 大衆の皆さん  
に便宜を供与する使命が  
あり快適な環境を整える。  
設置者として実施設計を  
通じ改善を果たす。



改善が求められる神社  
敷地内の公衆トイレ

## 新しい町づくりの為の

### 人材育成とは

### 町の活力に寄与し行動する 人材を育成したい

**佐川議員** 生き生きとし  
た産業の育成の中で人材  
育成アカデミー(仮称)  
を創設し、さまざまな分

野の人材を掘り起こし、  
異業種交流の活性化を図  
ると公約しているがこの  
構想について伺いたい。

**向山町長** 富良野地域人  
材開発センター運営協議  
会や中小企業大学校旭川  
校など企業の能力開発や  
人材育成研修があるが、  
主管の組織と参加者の主  
体性によるものであり、  
町として先導的役割を  
担っていただけの人材を  
育成したい。

加を促すことも施策とし  
て必要で、考え方の醸成  
を高め連携に継げること  
は接遇も含めたスキルな  
ども学ばなければならな  
い。研修や交流も必要に  
なる。新しいまちづくり  
に参加者を増やす施策は  
また他町村との交流はど  
う考えるのか伺う。

**佐川議員** 新しいまちづ  
くりは町の発展に繋げる  
ためよろしいか。また  
共通の思いを持った人達  
の育成と交流のためよ  
ろしいのか。

**向山町長** 町民の皆様と  
の温度差がないよう職員  
に指導していく。人材育  
成が意識の起爆剤となる  
よう意を用いたい。足元  
が固まれば町外に向けて  
車輛を動かす。

**向山町長** 専門的な技術  
能力を指すのではなく町  
の活性化を目指すという  
思いを共有できる人達  
が異業種を越えて研究・  
研修できるように町が関  
わりたい。

**佐川議員** 実際まちづく  
りの為に行動している人  
達がいるが、その動きを  
応援していく体制づくり  
を整える責任が町にはあ  
ると思うが。

**佐川議員** まちづくりに  
は人と自然と食の資源を  
生かし農・商・工業者だ  
けでなく行政員も考えら  
れる。まちづくりに参加  
している職員には理解と  
評価点を考えることで参

**向山町長** どのように取  
り組み事業化していくか  
は、スタートをきった所  
で上富良野を築いてくれ  
た先人の思いを原点に立  
ち返って人材育成に生か  
したい。



インタビューは・・・  
中絶です！

今回は、富町のご近所さんが佐々木源吉郎さん宅に1カ月に1回程度集まり、たわいのないおしゃべりをしたり、一緒に昼食を作ったりしている富町の『おしゃべり会』を12月13日に訪問し、参加者の皆さんからお話を伺いました。

代表の佐々木幸子さんは、札幌で行われた地域づくりセミナーで先進地の事例発表に感銘を受け、わが地域でも高齢者が楽しく生きがいを持って生活することが何かなできないだろうかということから、この『おしゃべり会』が始まったそうです。



◆どのような活動を◆

**問** 富町の『おしゃべり会』はいつできたのですか。参加者は何人ですか。

**答** 平成15年に設立をしました。当初は10名で、一人暮らしの方や高齢者世帯の方で、あまり元気ではなく、外に出る機会の少ない方に声をかけました。現在は、8名の方で活動をしています。

**問** 富町の『おしゃべり会』を作ったきっかけは何ですか。

**答** この会は、高齢社会を迎えるにあたって地域のことやろう。地域で寄り添って支えあつて高齢社会に立ち向かおうという事で始めました。

**問** 集まった日はどのような過ごし方ですか。

**答** だいたい1カ月に1回



程度集まっています。買い物係、料理係など参加者みんなで役割分担をしながら料理を作ったり、みんなで昼ごはんをとり、おしゃべりをしながら楽しく一日を過ごしています。

**問** 他にはどのような活動をしていますか。  
**答** 梅の花を見に行ったり、今年はサロマ湖の温泉に車2台で行ってきました。皆さんとの一泊温泉旅行はとっても楽しかったですよ。

◆議会・行政にひとこと◆

**問** 議会を傍聴したことがありますか。

**答** だいぶん前になりますが、女性学級に入っていたころみんなで傍聴に行きましたよ。町長さんと議員さんたちが真剣に議論していたことが印象に残っています。

**問** 町に何か要望したいことがありますか。  
**答** 私は、車いすでないと外出できないんです。冬は仕方がないと思いますが、歩道の整備を進めてほしいです。傾きやデコボコがあつてすごく怖いんです。

◆上富良野町に

住んでみて・・・◆

**問** 上富良野のいいところや悪いところがあれば聞かせてください。

**答** 十勝岳をみているととっても癒されます。自然も近所の方たちもとってもいい人ばかりで住みやすい町だと思っています。



# 議会の様子

- 10月29日 総務産建常任委員会
  - 12月3日 厚生文教常任委員会
  - 4日 総務産建常任委員会
  - 5日 議会運営委員会
  - 6日 全員協議会
  - 11日 第4回定例会（1日目）  
厚生文教常任委員会
  - 12日 第4回定例会（2日目）
  - 21日 議会運営委員会
  - 1月18日 議会広報特別委員会
  - 22日 総務産建常任委員会
  - 23日 議会運営委員会
  - 25日 議会広報特別委員会
  - 29日 第1回臨時会
  - 31日 総務産建常任委員会・  
厚生文教常任委員会
- 合同委員会協議会

## ●富良野沿線市町村

### 議会議員研修会

10月19日に富良野市文化会館にて、富良野沿線市町村議会議員研修会が開催され、14名の議員が参加しました。

研修は、(株) JTB北海道営業部 渉外営業課長・地域コンテンツ開発室長森下勉氏を講師として、「富良野沿線市町村が目指すべき観光のあり方」と題した講演を受講しました。

講演の中では、「富良野圏域では農業をはじめ、自然景観や自然環境と共存した人々の営みが多く、観光客を魅了し、観光振興の可能性が十分にあること。それぞれの市町村が独自の取り組みを進めながらも、エリアとして取り組んでいくことで、観光・商業・農業など多くの分野で大きく発展し、このようない取り組みの先頭になつていく人材の育成も必要。」と述べられました。



## ●上川管内町村議会議員研修会

11月5日に上川管内町村議会議員研修会が旭川市で開催され、12名の議員が参加しました。

研修は、二部構成で、第一部は、(株)農業技術通信社代表取締役役員吉則氏を講師として、「北海道農業の展望」の講演を受講し、「既にヨーロッパの1戸当たりの平均耕作面積を超えている北海道農業は、独自の経営理念と他産業との連携をもとに、十分発展する可能性があり、議員がリーダーとなって意欲の高揚を図ることに期待する。」と、述べられました。

第二部は、北海道総務部財政課長今井太志氏を講師として「地方財政の現状と課題」の講演を受講し、「基金額比率と将来負担比率を用いて客観的な財政状況の判断が必要。国の地方財政施策は不透明な部分も大きい。制度改革を視野に健全な財政運営を図るよう進められたい。」と話されました。



## やまびこ

■1月13日かみんにおいて、華やかな中にも厳かに成人式が開催された。年齢(よわい)48の小生にも成人式に出席した記憶がある。学生だったが、その時の心持はどうだったのか考えを巡らせる。

当時、今の自分の姿を想像していただろうかと・・・そういった意味で成人式は成人諸君のためのものだけではないのだと、ふつと考える自分がいる。

■昨年からは自転車の趣味が増えた小生は、早く春が来ないかと待ち望む。

新年度から観光振興計画が施行される予定である。観光においても様々なアクターをもつた上富良野町。町民の皆さんのアイディアと協働で一層わが町の観光を盛り上げて頂ければ、訪れる方々の多様なニーズに応えていけるものと考えらる。

(岡本 記)

### 議会広報特別委員会

委員長	米沢 義英
副委員長	村上 和子
委員	徳武 良弘
委員	岩崎 治男
委員	中澤 良隆
委員	岡本 康裕



議会の様子を見にきてください！ 次回の定例会は3月です。